

大震災・復興ニュース(第137報)

平成25年12月 5日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年12月 2日~12月 3日
- 2 測定分析機関 宮城県,(公財)海洋生物環境研究所,(株)静環検査センター。
- 3 測定結果

すべての検査品目について、基準値を下回り、安全性に問題のないことが確認されました。

なお、「不検出」とは、放射性物質の濃度が、検出下限値に満たない(検出下限値未満である)ことを指します。

水産物(採取日 平成25年11月27日~11月29日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	採取場所	放射性セシウム	種別	採取場所	放射性セシウム
スズキ	宮城県沖	1.2	ケガニ	宮城県沖	不検出
スズキ	金華山~江の島沖	5.5	ナガヅカ	宮城県沖	不検出
アオメエソ	宮城県沖	不検出	ヒラメ	金華山沖	不検出
エゾイソアイナメ	宮城県沖	不検出	ヤナギダコ	宮城県沖	不検出
ギス	宮城県沖	不検出	-	-	-

2 管内の復興に向けた動き

漁場ガレキの撤去作業状況について(その2)

・東日本大震災により海中に流出したガレキの撤去作業は、起重機船等により七ヶ浜町地先海域で10月4日(金)から開始し、順次、山元地先海域(11月11日から)松島湾内(10月21日から)などで撤去作業を行っています。

11月30日(土)現在、自動車や鉄くず、コンクリートブロックなど649m³のガレキを撤去し、引き続き撤去作業を行うこととしています。

漁場ガレキ撤去状況(11月30日現在)

	松島湾	七ヶ浜町	山元町
作業日数	28	8	21
撤去量(m ³)	233	115	301



漁場から撤去されたガレキ

ホヤの人工採苗準備が始まりました

・宮城県漁業協同組合浦戸支所では、東日本大震災で被災したホヤ養殖業の復旧復興を支援するため、昨年度に引き続き、ホヤの人工種苗の生産を計画しています。

松島湾周辺のホヤが成熟する時期に入ったことから、11月29日（金）に採苗に使用する天然のホヤ570個を採取しました。トレイに入れたホヤを陸上水槽で12月中旬頃から始まる採苗までの間畜養します。

本年度は採苗効率を高めるため、昨年度実施したシュロ縄に加えカキ殻の使用も計画し、生産した種苗は県内外の養殖業者へ販売する予定です。



採苗用に採捕された天然ホヤ